キッズ大陸よこはま中川園
初等教育プログラム　評価方針
（Primary Years Program Assessment Policy）

■　キッズ大陸よこはま中川園の教育理念

・礼儀を重んじ、自分と他者に対する理解と敬意を持った、真の国際人を育成します。
・スポーツを通じて、自ら考え、理解し、探究できる子どもを育てます。
・思いやりの精神をもち、将来の国際社会の発展と人類の幸福に貢献できる人財の育成を目指します。

■　当園における評価の捉え方

当園では評価（アセスメント）を以下のように捉えています：

・「園児のユニットに対する理解・学習を促進し、園児への働きかけを改善する手段」
・「園・教員が探究のプログラムと自身のクラス運営方法を振り返る手段」
・「園児の成長記録を、保護者、園児自身、園、教員と共に共有する手段」

私たちはプログラムの内外ともに、PYP の理念に基づき、園児一人ひとりを多面的で統一された視点で評価します。日々の生活や活動の中で結果だけでなく経過も重要ととらえ、多面的に行った評価を、都度園児にフィードバックすることで、更なる学びや成長へと繋げていきます。

また評価は園児だけでなく、教員が実施した教育プログラム自体を改善・促進するためにも用いられます。この場合、教員は園児の評価を通じて自身の実践している探究活動を振り返り、園児への働きかけを見直し、教員のスキル向上につなげていきます。

これらの点において、評価という語が一般的に想起させる「園児の理解や身につけたスキルの査定」とは異なります。

■　評価の目的

・教育プログラムを通した園児の変化・成長の記録と報告
・園における教育プログラム全体の持続的向上
　－　園における教育プログラムの有効性評価
　－　教員の自己評価と振り返りの記録と報告

■　評価者

・教　員：
　教員は日頃の観察や園児とのコミュニケーション、面談、園児の成果物（作品、ワークシート等）を通して、ユニットや日頃の園生活を通して見られた変化を評価します。
・保護者：
　園児の成長や行動の変化は様々な場面で見られます。家庭で過ごす中で見られた変化はぜひ教員に共有いただきたく思います。
・園　児：
　探究活動における個人ワーク・ペアワーク・グループワークを通じ、園児自身の学びの過程を振り返り評価します。（自己評価・園児相互評価）

■　評価の観点

1 年間に実施される 4 つの単元のユニットが掲げる下記の項目について、教員は園児の探究成果及び探究の過程（発言や会話等も含む）を評価します。

・中心的アイデア

各ユニットでは、探究活動を通じて園児に知ってほしい普遍的な知識を中心的アイデアに据えています。当園では園児たちの事前知識や身近な事柄を踏まえ、遊びをベースとした様々な学習経験を提供し、探究活動を通じてその知識の理解を目指します。

・概念

各ユニットでは、探究活動を通じて身に着けてほしい重要概念を規定しています。重要概念の理解を促進するために園児の理解度を測るとともに、教育プログラムの実践に反映させます。

・学習者像

各ユニットでは、国際的な視野を育成するために国際バカロレア機構（IB）が掲げている学習者像を規定しています。園児たちがその年齢・発達に即して学習者像を理解し、実現に努めているかを評価します。

・学習の方法（IB が掲げるスキルの習得）

自ら学ぶための学習の方法を、5 種類のスキルに分けて掲げています。これらは上記の項目に比べ、具体的な項目になりやすい傾向にあります。詳細は国際バカロレア機構が公開する資料”Making the PYP Happen: A curriculum framework for international primary education“『PYP のつくり方：初等教育のための国際教育カリキュラムの枠組み』（p.23-p.27）をご参照ください。

・技能の習得（保育所保育指針に定める教育内容の 5 領域）

当園では、日本の保育所保育指針が定める教育内容の 5 領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）について年間カリキュラムを策定しています。この年間カリキュラムは PYP の枠組みの中で実施され、園児の技能習得（文具の使用や数の概念の習得など）を促進します。

・行動

探究活動、ひいては園生活において、園児は多面的で統一された視点から観察されます。園児の行動に見られた変化もまた、成長の記録として評価されます。

尚、園生活を通じ、ユニットで掲げられる学習者としての姿勢が行動の変化、発達が見られた場合、成長の記録として評価します。

■　評価の種類

・　総括的評価

ユニットの終盤、終了時に実施される評価を指します。園児が探究活動を通じて深めた理解や習得し知識・スキルと共に、今後のユニットで発展または変更すべき点についても記録します。

・　形成的評価

ユニットが実施される前、及び実施中に行われる評価を指します。探究活動における園児の理解の促進や知識・スキルの習得に向け、既存知識を確認したり、教員側の働

きかけを検討したりする目的で行います。

■　評価の報告（記録）方法

・ポートフォリオ

ポートフォリオとは、園児の作品や作成したワークシートといった成果物に加え、探究活動や園生活における園児の意見や行動の変化を記録したファイルを指します。年度ごとに各園児のポートフォリオを作成し、年度中は園で保管し、年度末に保護者へお渡しします。

・多様な評価のツール

教員は園児の発達に応じ、様々な方法で園児を評価します。その際に活用されるツールについては、国際バカロレア機構が公開する資料"Making the PYP Happen: A curriculum framework for international primary education"『PYP のつくり方：初等教育のための国際教育カリキュラムの枠組み』（p.51-p.71）をご参照ください。

※『PYP のつくり方：初等教育のための国際教育カリキュラムの枠組み』は下記 URL よりダウンロードいただけます：
http://www.ibo.org/about-the-ib/the-ib-by-region/ib-asia-pacific/information-for-schools-in-japan/